

仙台市議会 政策報告

一緒に創ろう！
仙台の未来

青葉区発

令和7年6月

発行者
加藤和彦

仙台市青葉区霞子東六丁目7-45
TEL.022-392-2213
FAX.022-392-6176
<http://k-kazuhiko.com/>

令和7年第1回定例会 一般質問

宮城総合支所建て替えに伴う
地域のまちづくりについて
体育施設の整備ビジョンについて

令和7年第1回定例会

予算特別委員会総括質疑

令和7年度予算に関わる会派要望

国道48号の整備促進について

観光側面から見た交通渋滞についての認識

四季折々のイベントがあるたびに、国道48号は仙台ナンバーを中心とした車で溢れ、渋滞の頻度は年を追うごとに高くなっていると感じます。観光側面で見るとき、観光部局においてはこの交通渋滞をどのように捉えているのでしょうか。

国との協議状況と現在の対策

国道48号の道路管理者は国になりますので、本市だけで解決できる問題ではありません。これまで国とはどのような協議を行ってきたのでしょうか。

また、本市の道路事業全体の中で、国道48号の整備はどのくらいの優先順位にあるのでしょうか。

バイパス整備を含めた今後の抜本的対策

抜本的に渋滞対策を進める必要があるのではないかと考えるものですが、今後の対策をどうしていくのか、本市としても国に強く申し入れるべきと考えます。

西部中山間地域の総合的な人口減対策について

特色ある教育を生かした移住促進

教育を切り口としながらの人口減少対策について、中山間地域における特色ある教育や本市での展開の可能性についてどのようにお考えでしょうか。私は積極的に進めていくべきと考えますが、ご所見を伺います。

雇用、学校跡施設の利活用

学校の統廃合は全国的に進められ、数多くの先進事例があります。そうしたものに学び、仙台のこの場所ならではのオリジナリティを生かしながら、住民にとっては雇用を生み、外からは人を呼び込むような学校跡施設利活用であってほしいと考えるものですが、ご見解を伺います。

住宅施策

住宅の適正な管理のためにも、また、移住を希望する方の負担を減らす意味でも、古民家などを改修・リフォームして住むための費用の一部を援助できないのでしょうか。地域コミュニティを維持していくために、「必要なエリアを限定して」移住者向けの住宅支援を行うことは、意味のあることと考えます。

下水道インフラの整備と浄化槽修繕

今後、宮城西部地区にさらに公共下水道のエリアを拡張する計画はあるのか伺います。

実態として、こうしたエリアには高齢者世帯が多く住んでおり、年金収入を頼りにしている世帯に個人で修繕をと言っても負担感は大きいのではないのでしょうか。浄化槽の設置・修繕に関する必要な支援の在り方について検討すべきと考えます。

宮城総合支所建て替えに伴う 地域のまちづくりについて

庁舎建て替えとまちづくり

よりよい住民サービスを提供するためには建替えは必須であると考えるところであり、この動きを歓迎したいと思う一方で、ただ単に役場の建物を建て替えるだけでは、まちの未来のためにはなりません。あらゆる可能性を考えながら、民間とも話し合いの場を持ち、課題を一つ一つ整理しながら前に進めていくべきと考えますが、官民連携を意識した総合支所建替えと周辺のまちづくりに関し、今後の進め方についての考えを伺います。

愛子エリアの交通問題

国道48号バイパスは現在でも交通量が多く、錦が丘から愛子駅方面を結ぶ道路との交差点をはじめ渋滞が激しく、抜本的な対策が必要です。優先順位や費用対効果をよく考えながら、市でやること、区画整理事業でやること、民間でやること、また連携しながら国に要望することなど、役割分担しながら考える必要があります。このエリアにおける交通課題について、現在の当局の認識と今後の方向性について伺います。

体育施設の整備ビジョンについて

■ 仙台市体育館の大規模修繕

新年度から仙台市体育館カメイアリーナの大規模修繕が始まり、約2年間休館となるということです。機能を維持するため必要な改修を行うことは良いのですが、今の市体育館は、建設当時とは周辺環境が大きく変わっています。駐車場も少なく、周りも住宅地であり、大きな音が出るコンサートなどはとても開催できません。今回の大規模修繕に反対するものではありませんが、将来的な課題としてそうしたことも検討すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

■ 体育施設の整備ビジョン

強化合宿や、総当たりで試合をするようなプチ大会の開催にターゲットを絞った体育施設の整備を考えていくのがよいのではないかと、思います。こうした合宿や総当たりのプチ大会は、仙台での滞在期間も長くなり、施設整備と誘致とをセットで進めることにより、本市の売りの一つにもなるのではないのでしょうか。

こうした合宿や小中規模の大会の誘致を積極的に進めることで、スポーツ面だけでなく、経済的な波及効果にもつながっていくと考えるものですが、所見を伺います

民間活力を活用したこれからの体育施設の整備ビジョンを考えてほしい、と思います。

予算特別委員会総括質疑

令和7年第1回定例会予算特別委員会において、主に観光・経済と教育を中心に下記の項目について総括質疑を致しました。テーマは「プロデュース力」と「官民連携」それに「人の移動」です。

① 財政運営

需要の増大とその対応に関し、財政面での見立てについて

② 観光

観光戦略 アンダーツーリズム 中心部観光スポット(青葉山エリア) 宿泊税

③ 経済

経済コンパス 「人の移動」を前提とした経済活性化 海外拠点整備

まちなか再開発 宮城総合支所建て替えを契機とした官民連携まちづくり

④ 教育

学校統廃合と特色ある教育 跡施設の利活用 語学(英語)教育の重要性

学校給食費無償化

⑤ その他の諸課題

敬老乗車証利用拡大 インフラ維持

令和7年度予算に関わる会派要望

整理番号	要望事項	要望内容
1	ツキノワグマ対策について	西部中山間地を中心にクマの出没が増加傾向にあって将来的な自然減も見込めないことから、地域住民の安全確保や農業被害抑止の為、さらなるクマ対策を講じること。
2	市道愛子赤坂線の道路整備促進	市道愛子赤坂線の国道457号線から開成橋までの区間は、通行する車両が多く歩道幅員が狭小であるほか、接続する道路との交差点が多く点在していることから、安全に通行できるよう早期に完成させること。
3	JR仙山線第一勘太踏切拡幅整備	市道愛子1号線にあるJR仙山線第一勘太踏切は幅員が4m未満であるため車両のすれ違いができないほか、周辺には広瀬小学校や広瀬中学校が立地し、児童や生徒が多く通行することから、安全に通行できるよう拡幅整備を早期に実施すること。
4	錦ヶ丘地区周辺の交通渋滞解消	錦ヶ丘団地からJR仙山線愛子駅に至る県道秋保温泉愛子線は、団地内の人口増、秋保方面への観光など、年々交通量が増加し渋滞が日常化している状況である。また、地区周辺では土地区画整理事業など新たな開発が系飼うされていることもあり、今後のさらなる交通渋滞に拍車がかかり生活環境への影響が懸念されることから、将来のまちづくりを見据え、錦ヶ丘地区から仙台方面への国道48号線に至る区間への新たな道路を整備すること。
5	宮城総合支所庁舎の改築	建築から45年が経過し、等級化及び狭隘化が進んでいる宮城総合支所庁舎の早急な建替え計画を示す事
6	過疎化が進行している宮城地区西部の活性化に向けた取組み	過疎化と高齢化が進んでいる宮城地区西部について、一層の地域活性化を図ること。
7	市道綱木半子町線の安全な通行の確保	市道綱木半子町線の国道457号線芋沢地区から南吉成地区までの区間は、最近通行する車両が多くなっており、また幅員が狭くカーブがきついため、安全に通行できるように改善すること。
8	市道赤坂明神線の安全な通行の確保	市道赤坂明神線の芋沢字横前地区から川窪橋付近までの区間は、赤坂団地入口付近から続く下り坂によりスピードを出す車輛が多いうえに、安全に通行できるように改善すること。
9	県道落合停車場線の車道及び歩道の舗装改修の促進	県道落合停車場線については、整備後30年以上が経過し、舗装や視覚障害者用誘導ブロックの傷み、街路樹の過剰な繁茂等により通行に支障が生じており、早期に改修すること。
10	向田団地の代替道路整備	向田団地においては、名仙橋が地区への唯一のアクセス路であり、災害時の孤立化が懸念されることから、新設橋梁を含めた代替道路を早期に完成させること。
11	国道457号の道路改修	国道457号、愛子駅・陸前落合駅間については、大型車通行時の振動及び歩道部の側溝蓋の破損・路面の傷みを早期に改修すること。